

球磨川水系流域治水プロジェクト及び令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン推進に向けた 流域住民の皆様を対象とした説明会（御質問への回答）

日時：令和3年9月16日（木）午後7時～

会場：水上村立岩野公民館

参加者：18名

※上記説明会で頂いた御質問等に対する回答を種別ごとに掲載しています。

※御質問の内容については簡潔に概要としてまとめています。

※回答内容については、当日の回答内容を基本として簡潔に整理したのですが、必要に応じて一部、補足説明を追記しています。

【球磨川流域の治水対策について】

| 御質問（概要） | 御質問への回答 | 回答者 | | | | | | | |
|---|--|--|---|--|--|--|--|--|--|
| <p>一方的な説明だけでなく、住民の意見を聞いてほしい。今後、どのような形で、住民の納得を得ていくのか。</p> | <p>今後、河川整備計画を策定する法定手続きの中で、地域住民の御意見をお伺いする機会を設けていきたいと思っております。</p> | <p>国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所</p> | | | | | | | |
| <p>今後の治水対策について、もっと住民の意見を聞いたものにすべきだが、そうした計画はあるのか。</p> | | | <p>ダム建設に膨大な予算を投じるのであれば、住まいの再建など、被災者が望んでいる対策にその財源を活用してほしい。ダムによらない治水対策をしっかりと積み上げてほしい。</p> | <p>現在、河川整備基本方針の変更の作業、あるいは河川整備計画として、具体的にこの流域でどのような整備を実施するのか等の議論も進めています。</p> <p>昨年度の豪雨が、気象庁の研究所でも、気候変動の影響を受けた豪雨であったとも言われていますので、将来的な気候変動の影響も踏まえた上で、堤防がある場所においては、その堤防を越えないような整備を実施する。あるいは堤防がない球磨村、芦北町、八代市坂本町では、堤防だけでは守ることが難しい山間狭窄部、狭い部分がありますので、そういったところは、宅地のかさ上げを行い、家の浸水を防ぐような整備をするといったところで、現在メニューを考えているところです。</p> | <p>国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所</p> | <p>小川内川と球磨川の合流地点から下流域についても、土砂撤去をしてほしい。</p> | <p>小川内川については、その現場等も確認し、どのような状況かをしっかりと把握したいと思っております。</p> <p>現在、令和2年7月豪雨で、流域全体でかなりの土砂が、川の中に堆積したような状況でした。そのような中で出水期を迎えることは、非常に危険な状態でしたので、まずは緊急的に危険な箇所土砂撤去をしています。それが全て完了したわけではありませんので、今後も河道掘削を進めていくところです。</p> <p>ただ、河道掘削を行った箇所は洪水が流れやすくなり、下流側に負荷を与えてしまう可能性があります。そのため、手順としてまずは下流側を安全にする、あるいは上流側の掘削をする際には下流側に負荷を与えないものかどうか、そういった点を確認した上で実施するということがあります。</p> <p>先ほどの合流地点付近が、どのような堆積状況になっているのか、その場所で土砂撤去することによって、下流側にどういう影響があるのか、ないのかといった点も含めて、確認させていただきたいと考えています。</p> | <p>国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所</p> | <p>小川内川と球磨川の合流地点の下流域の堤防のかさ上げは検討しているのか。</p> |
| <p>ダム建設に膨大な予算を投じるのであれば、住まいの再建など、被災者が望んでいる対策にその財源を活用してほしい。ダムによらない治水対策をしっかりと積み上げてほしい。</p> | <p>現在、河川整備基本方針の変更の作業、あるいは河川整備計画として、具体的にこの流域でどのような整備を実施するのか等の議論も進めています。</p> <p>昨年度の豪雨が、気象庁の研究所でも、気候変動の影響を受けた豪雨であったとも言われていますので、将来的な気候変動の影響も踏まえた上で、堤防がある場所においては、その堤防を越えないような整備を実施する。あるいは堤防がない球磨村、芦北町、八代市坂本町では、堤防だけでは守ることが難しい山間狭窄部、狭い部分がありますので、そういったところは、宅地のかさ上げを行い、家の浸水を防ぐような整備をするといったところで、現在メニューを考えているところです。</p> | <p>国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所</p> | | | | | | | |
| <p>小川内川と球磨川の合流地点から下流域についても、土砂撤去をしてほしい。</p> | <p>小川内川については、その現場等も確認し、どのような状況かをしっかりと把握したいと思っております。</p> <p>現在、令和2年7月豪雨で、流域全体でかなりの土砂が、川の中に堆積したような状況でした。そのような中で出水期を迎えることは、非常に危険な状態でしたので、まずは緊急的に危険な箇所土砂撤去をしています。それが全て完了したわけではありませんので、今後も河道掘削を進めていくところです。</p> <p>ただ、河道掘削を行った箇所は洪水が流れやすくなり、下流側に負荷を与えてしまう可能性があります。そのため、手順としてまずは下流側を安全にする、あるいは上流側の掘削をする際には下流側に負荷を与えないものかどうか、そういった点を確認した上で実施するということがあります。</p> <p>先ほどの合流地点付近が、どのような堆積状況になっているのか、その場所で土砂撤去することによって、下流側にどういう影響があるのか、ないのかといった点も含めて、確認させていただきたいと考えています。</p> | <p>国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所</p> | | | | | | | |
| <p>小川内川と球磨川の合流地点の下流域の堤防のかさ上げは検討しているのか。</p> | <p>堤防のかさ上げについて、具体的にどの位置かを改めて確認したいと思っておりますが、基本的に令和2年7月豪雨で、上流の水上市、多良木町、湯前町で堤防を越えた浸水はなかったと思っております。</p> <p>ただ、言われたように、合流地点のところがネックとなり、その支川沿いから溢れた、あるいは水門、樋管で、逆流を防ぐために閉めたことにより、そこから球磨川へ排水できなくなったことで、田畑の方に溢れたという箇所は多くあります。そういう意味で、堤防の高さは充分なのかどうかを確認しながら、必要な高さが足りてないところは、整備していくこととなります。</p> | <p>国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所</p> | | | | | | | |

【球磨川流域の治水対策について】

| 御質問（概要） | 御質問への回答 | 回答者 |
|---|---|--|
| <p>ダムを前提とした対策では、宅地も堤防も鉄道も低くなってしまいます。500年、1000年に1度の洪水に対して、対応できる対策を早急に取り組むことが大切。ダムによらない治水対策を進めてほしい。</p> | <p>「ダムによらない治水を検討する場」以降の約10年の間、堤防の整備、河道の掘削、樹木の伐採をはじめ、中流部における宅地のかさ上げ、下流部における堤防の補強等を実施してきました。</p> <p>しかし、そのような中で、令和2年7月豪雨は、現在の河川整備基本方針の、人吉地点で7,000m³/sを流すといった計画を大幅に上回る約7,900m³/s（推定）という洪水が発生しました。</p> <p>そこで、国、県、流域市町村で、昨年度の豪雨に対して検証を行い、その際、従来の川辺川ダムがあった場合、どのようになったかということも検証しました。</p> <p>もし、川辺川ダムがあった場合、そして当時計画していた操作を実施した場合には、その浸水の面積については、約6割の浸水の範囲を解消することができたのではないかと。2階近くまで浸水した地域もありますが、そのような地域の浸水、3メートルを超えるような範囲については、約9割を低減することができるという試算結果でした。</p> <p>これまでもダムによらない治水対策として、放水路でそのまま海に流すなどを検討してきましたが、昭和40年の洪水を安全に流すのでさえも、ダムという選択肢がなかった場合には非常に厳しいという結果でした。</p> | <p>国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所</p> |
| <p>市房ダムの緊急放流の怖さを真摯に住民に説明する必要がある。</p> | <p>緊急放流という状態になると、ダムとして、既に満杯の状態ですので、上流から流れてきた水を下流に流す場合に、例えば100流れてきたら100流すという操作（ダムで貯めず、ダムが無い状態と同じ）となります。その間、下流域では浸水が発生している可能性もあります。</p> <p>ダムが満水となるまでの間は、例えば100流れてきた水を80貯め、下流側に20流し、下流側の流量を低減させるような運用をしていますので、その間に下流域の皆様には、避難していただく、そういうソフト対策の対応をお願いしています。</p> <p>ハード対策とソフト対策、そのような両面が必要であると思っておりますので、御理解のほどいただければと思っております。</p> | <p>国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所</p> |
| <p>令和2年7月豪雨により、市房ダムで処分された流木の量、その処分費用はどのくらいか。</p> | <p>【補足説明】 令和2年7月豪雨では、市房ダムに約2万m³の流木が流れ込み、市房ダムの網場等で捕捉しました。</p> <p>捕捉した流木は、災害復旧事業（約2億円）において、令和3年5月までに撤去を完了しました。</p> | <p>熊本県 市房ダム管理所</p> |
| <p>大量の流木が発生した理由は、山腹崩壊によるものか、若しくは伐採して廃材になったものが流れて流木になったのか。また、その割合を教えてほしい。</p> | <p>豪雨で発生した流木については、これまでにない集中豪雨で、河川沿いの山腹崩壊と溪流沿いの木が押し流され発生したものが大半だと思います。</p> <p>資料3の6ページに治山事業を実施する箇所被害状況の写真を載せています。これが全てとは言いませんが、市房ダム上流域、繁ヶ尾の写真があります。これは球磨川水源近くの広葉樹の天然林の箇所で、谷筋の山腹が深くえぐられ、生えていたであろう広葉樹がほぼ全てすべて市房ダムの方に流れた可能性があります。</p> <p>それから、小櫨でも山腹崩壊が起こり、スギや広葉樹も含め、下流域に流されたと思われます。</p> <p>最近の豪雨では、木の根よりも深いところでの崩壊。深層崩壊といいますが、これは地形、地質、それから地下水の状況により、人工林、天然林に関係なく崩れてしまうため、なかなか防ぐことができません。</p> | <p>熊本県 県南広域本部 球磨地域振興局</p> |
| <p>流木の発生に関わる会議等に積極的に参加されているか。</p> | <p>現在は、そういった会議への参加というは行っておりませんが、そのような場がありましたら、今後参加について検討して参ります。</p> | <p>熊本県 市房ダム管理所</p> |

【球磨川流域の治水対策について】

| 御質問（概要） | 御質問への回答 | 回答者 |
|--|---|-----------------------------------|
| <p>「球磨地域の100年後の森林を考えよう！次世代につなぐ球磨の森づくりルール」のパトロール結果表の中に「流木になりそうなところに放置されていないか」などの文言が入っていけば、少しは流木が減るのではないか。</p> | <p>球磨地域で作成したガイドライン「次世代につなぐ球磨の森づくりルール」について、これは最低限のルールといったものになります。球磨地域は林業地域であり、森林組合をはじめ林業事業者の方々が、森林の伐採、それから作業道を整備されています。近年、大きな災害が起きた際に、下流に枝葉や切った木が流れないように、また、作業道が崩れ土砂が下流域に流れ出さないよう、適切な森林施業をやりましょうということで、このルールに賛同いただき、きちんとした作業に留意していただくことにしています。また、奇数月にパトロールを行っており、令和元年度は、定期的を実施しています。昨年度は、新型コロナの影響で計画通りにできていませんが、今年度は第1回を6月に実施しており、各市町村、関係林業事業者の皆さんと一緒に現場を回り、今のところ、ルールに違反している箇所は、発見しておりません。</p> | <p>熊本県 県南広域本部 球磨地域振興局</p> |
| <p>一番大切なことは命を守ること。そのための避難道路の確保や拡充を進めてほしい。</p> | <p>避難路の整備については、今すぐお答えできるものではありませんが、まず避難について、実際にどのように避難するか、どこに避難するかというのが大事なことで考えています。現在、多良木町ではモデル地区を定め、地区別の避難計画を作成いただき進めているところです。現在は、コロナの影響で研修もできていませんが、今後は地区ごとに避難計画を作成いただき、どのように逃げるのか、どこに逃げるのかを各地区ごとに設定してもらい、皆さんが速やかに避難できるような計画を作成できればと思っています。</p> | <p>多良木町 危機管理防災課</p> |

【その他】

| 御質問（概要） | 御質問への回答 | 回答者 |
|---|---|--|
| <p>鵜木橋の橋脚に流木が引っ掛かったまま放置されている。そういったところの点検や流木の撤去をお願いする。</p> | <p>鵜木橋の流木について、現場を確認させていただき、どのようなことができるのか検討させていただければと思います。</p> <p>【補足説明（熊本県）】 令和4年1月に球磨地域振興局において撤去を完了しました。</p> | <p>国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所</p> |